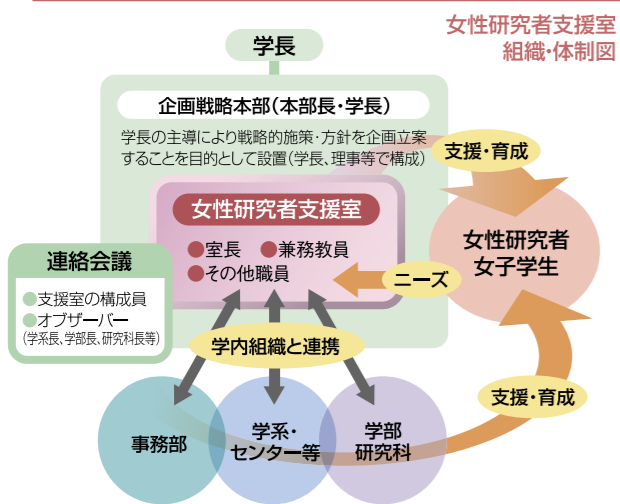




Pick Up! 女性研究者支援室

男女共同参画社会基本法が平成11年に成立してから、様々なところで男女共同参画が推進され、各大学においても各種の取組は進められてきましたが、「男女共同参画室」を設置し、組織的に推進しているところは多くはありませんでした。その中で、女性研究者の活躍促進のための環境整備等を推進するために平成18年度から文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業が始まり、平成20年度に新潟大学から申請した「キャンパスシッターによる育成・支援プラン」が採択され、子育て支援、メンター支援、キャリア形成支援を柱とした3年間の事業を進めていくことになりました。



これまでの取組み

- 短時間勤務の雇用制度の導入
- ベビーシッター利用の補助
- 産前産後休暇期間中の代替教員の任用etc...

しかし、本学の女性研究者・教員の割合は **2.8%** ...そこで!

女性研究者やそれを目指す女性たちが、男性同様に研究・勉強に従事できるような体制づくりのため、2007年12月に「女性研究者支援室」を設置

2008年6月に新規オープンしたばかりの「女性研究者支援室」に、新大広報の学生編集スタッフが **突撃取材!**

数ある支援室の活動のうち、今回は「新大シッター」と「キャリア・カフェ」について取り上げます。



泉●「新大シッター」の実際の活動はどのようなものですか?

五十嵐先生●大学構内で、複数のシッターが1人の子どもの保育をします。一緒に遊んだり、食事や着替えの世話などが主な活動ですね。

泉●複数だと安心ですね。一人だとやっぱり、何かあったときのことを考えると…。それに複数の方が賑やかに遊べますね!

五十嵐先生●そうですね。ちなみに、この新大シッター制は、現在新潟大学だけがやっている新しい取り組みなんですよ。

泉●そうなんですか!では他大学からも熱い視線が注がれているプロジェクトというわけですね。これからは楽しみです♪



新大シッター養成講座

10月25日に医学部保健学科(旭町キャンパス)で「大学生のための役に立つ育児学」の集中講義が行なわれました。

演習では乳児の模型人形を使用しました。人形に優しく声をかけながら衣類の着脱やおしめの取り替えをして、参加学生は楽しそうに技術演習に取り組んでいました。

食事の援助の練習を兼ねた離乳食の試食も賑やかでした。(泉)



新大シッター



子育て中の研究者が土曜日・日曜日にも研究に専念できるよう、新大生が研修修了後、大学構内で一時的に子どもを預かり、保育支援を行う制度。



泉●早速質問させていただきますが、「新大シッター」になった人は「認定書」が頂けるのですか。

五十嵐先生●そうですよ。しかもそれは学長から直々に付与されますからね。

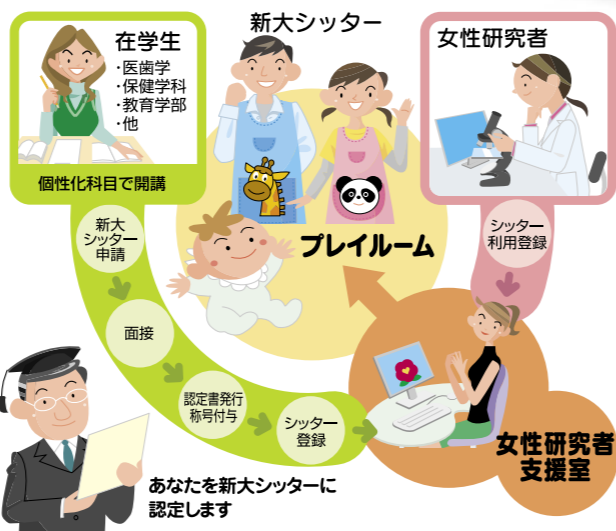
泉●学長からですか!? それは驚きです。

五十嵐先生●(笑)。学長に会うにはまず個性化科目(※平成21年度予定)の講義の他、演習、実地研修を受けていただくのですよ。

泉●へえ〜、「やりたい」と思う学生なら男女関係ないのですね。保育される子どもも、男性のシッターさんがいると遊びの幅が広がって楽しく過ごせそう♪

五十嵐先生●社会ではいろいろな個性を持った人たちが生活していますでしょう。それと同じように、新大シッターもそれぞれの個性を活かして楽しく活動してほしいです。多様性のあるシッターを養成していきたいですね。

新大シッター制度のしくみ



キャリア・カフェ「雪椿」

日頃の研究活動の悩み、研究と子育ての問題や進学・就職の迷いや悩みなどを支援室スタッフと気軽に話せる多目的スペース。



泉●このキャリア・カフェは何というか、アットホームな雰囲気ですね。ここでは相談ができるとのことですが…。

五十嵐先生●支援室のスタッフや、研究者として経験豊富な先輩教員がアドバイスしますよ。「子育ての時間も重要だし研究の時間も欲しい」「研究がおもしろくなってきたけど進学はどうしよう」などですね。

泉●まさに「研究者ならば一度は頭をよぎる悩み」ですか。

五十嵐先生●研究者に限りませんよ。学部生に対しても「このままの学生生活でいいのかな」「学生のうちに何をしておくべきだろう」などについてアドバイスできますし、実際に先輩たちとの交流の場を提供したりしますよ。

泉●学部生でも利用できるんですね! すっかり研究者だけが対象と思いついていました…。

五十嵐先生●キャリア以外にも、女性の健康、子育てや介護に関する相談も受け付けています。「子育てと研究が両立できるか心配」「突然介護をすることになったけれど仕事はどうしよう」などもこちらまで。

泉●人生のその時々によって生じる悩みに対応していただけるんですね。



五十嵐先生●はい。また、もっとじっくり相談したい方には、15時~17時に個別の相談時間を設けていますし、時間がない方には、メールでの相談も受け付けています。それと、もちろん秘密は厳守しますよ。

泉●なるほど〜。他の人には話しにくい、病院に行くにはちょっと…という場合などにもよさそうですね。

五十嵐先生●これ以外の取り組みの詳細については、ホームページ(www.niigata-u.ac.jp/gakugai/is/joseishien/index.html)に記載しておりますのでそちらも参照してみてくださいね。

泉●わかりました。本日はお忙しい中どうもありがとうございました。

開設時間

火・金 15:00~17:00 キャリアに関する相談
月・木 15:00~17:00 女性の健康・子育て・介護に関する相談
月~金 11:00~14:00 上記どちらの相談もどうぞ 昼食持参OKです



利用申し込み・お問い合わせ
「女性研究者支援室」TEL025-262-7570
E-mail: female-support@adm.niigata-u.ac.jp